

2022・6 vol.45



原町本店  
〒975-0003  
南相馬市原町区栄町2-83  
TEL: 0244-24-2929

いわき店  
〒970-8026  
いわき市平三倉69-8 第2地産ビル1F  
TEL: 0246-85-5298

みなさまこんにちは！6月になりました！そう、衣替えの季節です！みなさま準備は万端ですか？実は、衣替えの習慣は平安時代から行われていたと言われています。中国の風習にならい、旧暦の4月1日と10月1日に宮中行事として夏装束と冬装束を切り替えていました。女房が持つ扇の素材も、夏は紙と竹製、冬はヒノキ製と決められていたそうです。当時は衣替えという言葉はなく、「更衣(こうい)」と呼んでいました。鎌倉時代になると、夏と冬で御簾や畳などの家具類も替えるようになったそうです。

宮中行事だった衣替えが庶民に広がった江戸時代中期には、なんと年に4回も衣替えがあったそうです。しかも、一枚の着物を袷から単衣に縫い替えたり、単衣から袷に縫い替えたものにさらには綿を入れて冬を越したりと、1年中衣替えで大忙しじゃないですか！！タンスの中身の入れ替えで済むくらいなら頑張ります！今月も、雨なんか気にしないで着物生活楽しみましょう！！

## ＜大好評！たかはしきもの工房フィッティング会＞

5月12日(木)～14日(土)までの3日間、いわき店において「たかはしきもの工房フィッティング会」を開催しました。2日間はアドバイザーさんも来店し、みなさんの驚きと喜びの声で店内がとても賑やかでした。



いわき店で開催したフィッティング会にはたくさんのお客様にお越しいただき3日間開催することができました！「たかはしきもの工房」のホームページを見て、初めてよろづ屋に来店して下さったお客様もいらっしゃってうれしい限りです！快適に着物を着たい方の要望に応じてくれる商品や、アイデア溢れる商品に驚きと喜びの声が多く、「たかはしきもの工房」の商品の魅力をお伝えできる良い機会となりました。これからの単衣・夏キモノの暑さ対策や汗ジミ対策に欠かせない商品や、雨の季節に安心な「雨衣(UI) キコ/ハコ/マコ」なども大変人気でした。また、5月20日以降値上がりになる商品もあり駆け込みの注文も！！

ご来店いただき本当にありがとうございました！  
次回は、原町本店にて7月14日(木)～16日(土)の3日間開催いたします！原町近辺にお住まいの方はぜひお楽しみに！！

## ～ガラス細工アクセサリー作り体験会～

いわき店において、ガラス細工でブローチや帯留めになるアクセサリー作り体験会を開催します。丁寧な指導で、初心者でも簡単に体験できます。

日時: 6月23日(木)、24日(金)  
両日とも 午後1時～

場所: 和装館よろづ屋 いわき店

定員: 各日 先着5名様

参加費: 1,000円(材料費)

申し込み: 6月9日(木)10:00よりいわき店にて受付

※ご来店の方のみ受付いたします。お電話での申し込みは受付ておりませんのでご了承ください。



ブローチとしても帯留めとしても、どちらでも使用できます。手作りで自分だけのオリジナルのガラス細工アクセサリーを作ってみませんか？

# < よろづ屋 きものがたり～久留米絣～ >

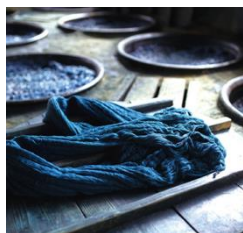
全国の紬や染めの産地のお話や、きものにまつわるあれこれをご紹介しますコーナー  
第18回目は、夏は涼しく、冬は暖かい木綿絣の最高級品

その着心地の良さから太宰治が好んで着ていました

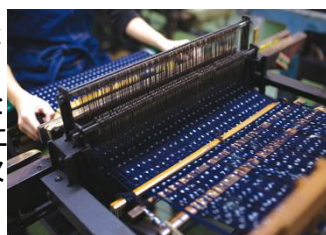


福岡県筑後地方に伝わる綿織物・久留米絣。丈夫な綿織物は仕事着に最適で、昔は各家庭で手織りされていました。実用性重視の普段着だけに、200年前は無地が一般でした。寛政11(1799)年、井上伝という当時12歳の少女が、着古した着物の色があせ白くまだらになっているのを見て、それを模様として織りだすことに工夫を重ね成功しました。綿糸を先に染めてから織ることで、微妙なズレが生じ独特なかすれ模様となります。これが久留米絣の大きな特徴であり、魅力でもあります。

久留米絣には綿素材ならではの良さがああり、夏は涼しく、冬は暖かいという、日常的に着る上で最適な特徴を持っています。工程は非常に緻密で、柄を生み出すために糸束を縛って染色し、染めた糸束をまた一本一本の糸にほどき、織ることでやっと一枚の織物ができあがります。完成までにかかる日数は約3ヶ月。その間、30もの工程を経る手間のかかる工芸品です。機械の進化で、作業の負担が減ったとはいえ、人の手仕事が不要な工程は一つもありません。機械織りでも経糸と緯糸の柄を合わせるのには非常に難しく、職人の高い技術が必要なのです。明治時代には久留米地方は一大産業地となりました。また、久留米絣は、木綿絣の最高級品であるとの評判を得て、備後絣、伊予絣と並び日本三大絣のひとつとされています。昭和32年に国の重要無形文化財の指定を受けていますが、第2次大戦後から伝統的な手仕事による織物の数は減少しました。現在「本場久留米絣」は、手くびりによる絣糸を天然藍で染め、投杼の手織機で織るという伝統的な技術が活かされています。



久留米絣には綿素材ならではの良さがああり、夏は涼しく、冬は暖かいという、日常的に着る上で最適な特徴を持っています。工程は非常に緻密で、柄を生み出すために糸束を縛って染色し、染めた糸束をまた一本一本の糸にほどき、織ることでやっと一枚の織物ができあがります。完成までにかかる日数は約3ヶ月。その間、30もの工程を経る手間のかかる工芸品です。機械の進化で、作業の負担が減ったとはいえ、人の手仕事が不要な工程は一つもありません。機械織りでも経糸と緯糸の柄を合わせるのには非常に難しく、職人の高い技術が必要なのです。明治時代には久留米地方は一大産業地となりました。また、久留米絣は、木綿絣の最高級品であるとの評判を得て、備後絣、伊予絣と並び日本三大絣のひとつとされています。昭和32年に国の重要無形文化財の指定を受けていますが、第2次大戦後から伝統的な手仕事による織物の数は減少しました。現在「本場久留米絣」は、手くびりによる絣糸を天然藍で染め、投杼の手織機で織るという伝統的な技術が活かされています。

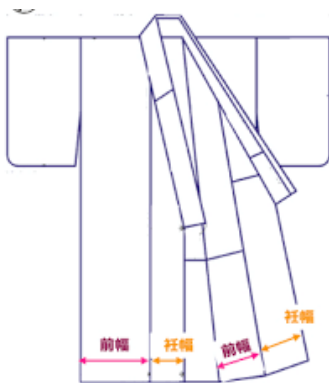


## 知っておきたい寸法のこと

せっかくのお話の着物、みなさんご自分の寸法はご存知ですか？仕立てる際や購入時の参考に、寸法のことをもっと知りましょう。

### ～その2 身幅～

今回は身幅についてです。身幅とは、前幅と後幅と衽幅を合わせた幅です。採寸の際にお尻回りの寸法を測るのはこの身幅を決めるためです。リユースのお着物などを選ぶ際、身丈や衽を気にされる方が多いかと思いますが、この身幅も重要な寸法になります。身幅が狭いと、正座をする際にきつく感じるうえ、前合わせがはだけて襦袢が見えてしまうなんてことも…特にお茶席などで着られる方は少し身幅を広めに仕立てるのもオススメです。また、身幅が広すぎても裾さばきもたもたして着にくさを感じてしまいます。訪問着や附下などは、柄によって身幅が少し広くなる場合もあります。仕立ての際は、柄を重視するか寸法を重視するか相談されると良いでしょう。どうしても身幅が合わず、着にくさを感じる場合はお直しも可能です。また、久しぶりにお着物を仕立てる際は身幅の寸法が変わっている場合があるので採寸すると良いでしょう。



### 今月のおススメ！

たかはしきもの工房  
『UI雨衣』/ハコ  
14,300円(税込)



今回のおススメ商品は、またまたご紹介「たかはしきもの工房」の雨用品『UI雨衣』シリーズの履くタイプ「ハコ」。そう、見た目はもんぺです！しかしこの「ハコ」ただのもんぺじゃありません。「スッキリした、カッコよく見えるもんぺ」を目指した「ハコ」は、動きやすく、作業しやすいゆとりさがありながら、お尻が大きく見える、ダボついて見えるという悩みを、全体の形と、秘密のベルトで解決してます。もんぺタイプの一番の心配なところは、きものの裾のたつきです。そのもたつきを防ぐために、「ハコ」は後ろ側にベルトを付けました。このベルトに、お手持ちのクリップを付け、そのクリップにきものの裾を挟み、持ち上げることで、きものの裾が股の部分にたまらず、下半身がスッキリとします。しかも高い撥水性がありながら、柔らかく、コンパクトに畳めて、重さは上下合わせても約200g。いつものバッグの隅にそっと入れておけるサイズと重さです。履き心地とその軽さに驚きの商品です。



収納ポーチ付き

### ・・・若女将のつぶやき・・・

4月に長女がカナダのモントリオールへ旅立ちました。留学したいからと東京の仕事をやめて地元で準備をしていましたが、長引くコロナの影響でなかなかビザがおりず、2年待っての留学となりました。1ヶ月経ちましたが、語学学校に通いながらフロリストとして花屋さんで働いているそうです。一年間会えなくなるのは寂しいけれど、成長して帰って来てくれるのが楽しみです！出国前に白河だるま(ミニサイズ)に片目を入れて無事を願いました。今は遠く離れていてもLINEやSNSですぐに連絡が取れるし、電話でも話せるし、ITの進化に感謝です。私も行きたいよ～♪

